

産科と婦人科 第90巻 総目次

令和五年
2023年

通し頁一覧表

1月号	1 ~ 112	5月号	441 ~ 568	9月号	937 ~ 1064
2月号	113 ~ 224	6月号	569 ~ 696	10月号	1065 ~ 1176
3月号	225 ~ 328	7月号	697 ~ 816	11月号	1177 ~ 1296
4月号	329 ~ 440	8月号	817 ~ 936	12月号	1297 ~ 1416

— 特 集 —

▶ 1月号・産婦人科漢方ステップアップ—三大処方の次なる一手とは?— ◀

- I. 次なる一手を考えるための基本
- 漢方薬選択における東洋医学的理論の現代医学的解釈 大 澤 稔 7
 - 産婦人科とヌーベル漢方 武 田 卓 15
- II. 次なる一手の具体的処方—A. 生殖・女性ヘルスケア
- 不正子宮出血と黄連解毒湯(15) 鯉川彩絵・他 21
 - 頻尿で冷えると下腹が痛い患者(膀胱痛症候群)の
当帰四逆加呉茱萸生姜湯(38)ほか 関口由紀・他 27
 - 月経前症候群における座瘡と桂枝茯苓丸加薏苡仁(125) 濱口まりえ・他 33
- II. 次なる一手の具体的処方—B. 周産期
- 妊娠悪阻と六君子湯(43) 中山 毅・他 41
 - 妊婦便秘症と調胃承気湯(74) 武田智幸・他 47
 - 妊娠中の慢性頭痛と呉茱萸湯(31) 光 井 潤一郎 53
 - 予定日超過分娩と五積散(63) 岡村麻子・他 59
 - 帝王切開術後の腹部症状と桃核承気湯(61) 斎藤仁美・他 66
 - 産後うつ病と女神散(67) 常田洋平・他 73
- II. 次なる一手の具体的処方—C. 腫 瘍
- 婦人科術後腸閉塞(イレウス)予防と大建中湯(100) 堀越義正・他 79
 - 卵巣癌と十全大補湯(48) 山 本 真 一 83
 - 終末期がん患者の胸水貯留と五苓散(17) 鮫島 梓・他 89

▶ 2月号・超音波がもたらす産婦人科診療の新機軸 ◀

- I. 進化した超音波装置と近未来
- 超音波診断装置の新機能をいかに使いこなすか 山 本 祐 華 123
 - 人工知能が変える産婦人科超音波検査 永 易 洋 子・他 129
 - 高解像度のハイエンド装置を産科診療に活かす 長谷川潤一・他 133
- II. 臨床への新たな活用法と工夫
- 胎児治療への応用 市 塚 清 健・他 139
 - 一絨毛膜双胎の管理 鷹野真由実・他 145
 - 妊娠糖尿病妊婦の胎児評価への応用 池ノ上 学 151
 - 妊産婦の心血管評価 吉 松 淳 157
 - contrast-enhanced ultrasonography の産科出血管理への応用 今 井 健 史 163

9. 子宮内膜症・子宮腺筋症の超音波検査	太田 郁子・他	169
III. POCUS の実際		
10. 救急現場における POCUS	亀 田 徹	175
11. 急性腹症の POCUS (産婦人科領域を中心に)	畠 二 郎	181
12. 分娩管理における POCUS	松 岡 隆	189
13. 産科における急性期 POCUS	松島実穂・他	195
14. 術後管理における POCUS	泉 顕治・他	201

▶ 3月号・子宮体部悪性腫瘍の最前線 ◀

I. 研究の最前線		
1. 子宮内膜がんの発がん分子機構	京 哲	229
2. 子宮体がんの stem cell 研究の最前線	石黒 竜也・他	239
3. 子宮肉腫研究の最前線	小野山一郎・他	245
II. 診断・治療の最前線		
4. 子宮体部悪性腫瘍の画像診断の最前線	藤井進也・他	251
5. 子宮体がんに対する抗がん化学療法の最前線	野村 弘行	255
6. 子宮体がんに対する妊孕性温存治療の最前線	坂井健良・他	261
7. 難治性子宮体がん治療に期待される分子標的治療薬	馬場 長・他	267
8. 子宮体がんに対するレンパチニブ+ペムブロリズマブ療法の最前線	黒須博之・他	275
9. 子宮体がんに対する手術療法の最前線	濱西潤三・他	282
10. 子宮体部腫瘍(がん, がん肉腫, 肉腫)に対する遺伝子検査の 選択とタイミング, 患者説明のポイント	植木 有紗	289
11. 子宮平滑筋肉腫治療の最前線	西川 忠 暁	297
12. 子宮内膜間質肉腫の診断・治療の最前線	加藤 友 康	303

▶ 4月号・保険適用になった不妊治療—できること・できないこと— ◀

I. 実際の運用と影響と課題		
1. 不妊診療保険適用の影響と課題	能瀬さやか・他	333
2. 不妊診療保険適用における注意点 —施設基準と年齢制限と運用上の問題点—	宮崎 亮一郎	339
3. ART の治療戦略	京野 廣一・他	346
4. ART 施設の経営戦略	田 中 温	353
5. 保険で行えない最新不妊検査・治療	小宮慎之介・他	359
II. 保険適用になった治療・手技		
6. 不妊検査, AMH, 子宮内膜着床能検査	高島 明子・他	363
7. 一般不妊治療・人工授精・精子調整	辰 巳 賢 一	368
8. 卵巣刺激	杉山力一・他	376
9. 採卵・体外受精	浅田 義 正	383
10. 媒精・顕微授精	竹 内 巧	389
11. 胚培養・タイムラプス	竹島和美・他	395
12. 胚凍結管理	菊 地 盤	401
13. 胚移植・黄体補充	鍋 田 基 生	407
14. 不育症	佐藤善啓・他	412
15. 男性不妊	石 川 智 基	419

▶ 5月号・時間の流れと産婦人科生物学

—早すぎること, 遅すぎること, 長すぎること, 短かすぎること— ◀

I. 時間の生物学総論		
1. 今改めて「ゾウの時間とネズミの時間」	本 川 達 雄	445

2. 概日リズムの基礎	八木田和弘・他	451
3. Klotho と加齢の制御機構	黒尾 誠	459
II. 時間の流れと生殖内分泌学		
4. 時計遺伝子と生殖生理	小野 政徳	467
5. GnRH パルスジェネレーターの生物学	岩佐 武・他	473
6. メラトニンと生殖生理	田村 博史	479
7. 思春期早発症	鹿島田 健一	486
8. 初経遅延と原発性無月経	久具 宏司	494
9. window of implantation (WOI) の細胞生物学	川井 清考・他	501
10. 早発閉経と早発卵巣不全—不妊治療を中心に—	丸山 哲夫	507
III. 時間の流れと周産期医学		
11. 適正な妊娠年齢および若年妊娠と高年初産婦	古川 誠志	513
12. 適正な分娩発来機構および早産と過期産	瀧内 剛	518
13. 臍帯クランプ：遅延 vs. 早期	篠原 枝里子	524
IV. 時間の流れと女性医学		
14. 「更年期」を過ぎても「更年期症状」は残存するか？	寺内 公一	529
15. 交代勤務と健康問題	三島 和夫	537
16. センテナリアンの健康と性差	小川 純人	542

▶ 6月号・「痛み」に強くなる—産婦人科医として知っておきたい最新知識— ◀

1. 痛みと鎮痛のしくみ	丸山 一男	573
2. 妊婦における麻酔関連薬剤の薬理学	濱場 啓史・他	582
3. 脊髄幹鎮痛による無痛分娩の実際	細川 幸希	587
4. 産科麻酔における末梢神経ブロックの実際	角倉 弘行	595
5. 医療安全に留意した無痛分娩	照井 克生	601
6. オキシトシンの疼痛抑制作用	川崎 展・他	607
7. 術後の疼痛(術後痛)管理の実際と留意点	小松崎 誠・他	615
8. 女性の片頭痛・筋緊張型頭痛への対応	牧田 和也	621
9. 新しい ICD-11 慢性疼痛コードの臨床応用	森脇 克行・他	627
10. 慢性骨盤痛と外陰前庭痛の管理	関口 由紀	635
11. 慢性疼痛に対する鍼灸治療	伊藤 和憲	643
12. 線維筋痛症の診療	村上 正人	649
13. 穿刺(ワクチン接種を含む)を契機とした遷延痛への対応	北原 雅樹	657
14. がん疼痛の薬物療法	余宮 きのみ	663
15. がん患者の感情的苦痛の対応	佐伯 吉規	671

▶ 7月号・ここまで進んだ産婦人科領域の検査法—先制医療に向けて— ◀

I. 周産期・生殖内分泌		
1. 胎児付属器の機能評価の進歩	古谷 菜摘・他	701
2. 不妊症の検査—AMH の意義を含めて—	三井田美樹・他	707
3. 母体血を用いた出生前遺伝学的検査(NIPT)	関 沢 明彦	712
4. 着床前遺伝学的検査	柿原 秀也	719
5. 周産期感染症の検査の進歩	真川 祥一・他	725
6. 妊婦の糖代謝異常の評価	増山 寿・他	732
7. 妊娠高血圧症候群の予測と重症度の評価	小出 馨子	737
II. 女性医学		
8. 閉経後骨粗鬆症の新しい画像評価法	北島 百合子	742
9. 骨粗鬆症における血中 25-ヒドロキシビタミン D 測定の意義	粒 来 拓	747
10. 女性のヘルスケア向上のための感染症スクリーニング検査	野口 靖之・他	755

III. 腫瘍

- | | | |
|---|---------|-----|
| 11. 婦人科がんにおけるリキッドバイオプシーの意義 | 吉村明彦・他 | 761 |
| 12. 卵巣腫瘍のMRI診断 | 山下詠子 | 767 |
| 13. 進行婦人科がん治療における相同組換え修復異常検査(HRD),
MSI検査, 遺伝子変異量(TMB)測定の意義 | 千代田達幸・他 | 775 |
| 14. HPV検査の特色—検診への導入を視野に— | 高崎和樹・他 | 783 |
| 15. 卵巣がん新規腫瘍マーカーTFPI2の開発と臨床応用 | 小河原由貴・他 | 789 |

▶ 8月号・これからの性教育—タブー視せずにポジティブに捉える— ◀

I. 現状と問題点と未来

- | | | |
|---|------|-----|
| 1. 性教育の未来へ向けて「生と性の健康教育」 | 安達知子 | 821 |
| 2. 日本の性教育の歴史・現状と課題 | 北村邦夫 | 827 |
| 3. 海外の性教育の現状
—国際セクシュアリティ教育ガイダンスを踏まえて— | 門間美佳 | 835 |
| 4. 日本の性暴力の現状とその被害者支援
—ワンストップ支援センターからの報告— | 加藤治子 | 847 |

II. 性教育の実践

- | | | |
|---|--------|-----|
| 5. 日本産婦人科医会作成性教育スライド
「思春期ってなんだろう性ってなんだろう」の活用 | 江夏亜希子 | 853 |
| 6. 学校医と養護教諭のための思春期婦人科相談マニュアルの活用 | 宮国泰香 | 857 |
| 7. #つながるBOOKの活用 | 高橋幸子 | 861 |
| 8. 学習指導要領を超えた性教育—東京都での取り組み(中学・高校)— | 塚田訓子・他 | 866 |
| 9. 家庭と連携した学校における性教育—集団指導と個別指導— | 井上聡子 | 872 |
| 10. 性暴力防止のための生命の安全教育の取組
—絵本「おしえて! くもくん」の活用— | 小笠原和美 | 879 |
| 11. 「生命の安全教育」の特徴と「期待」 | 良香織 | 885 |

III. 教員・助産師・家庭による性教育

- | | | |
|--|-------|-----|
| 12. 学校と連携した性教育を行うために | 赤澤宏治 | 890 |
| 13. 男子の性教育 | 今井伸 | 897 |
| 14. 助産師による性教育
—20年間大切にしてきたこと, 現在強化していること— | 川島広江 | 902 |
| 15. 「男女のミゾ」の正体—男女の相互理解のために— | 黒川伊保子 | 908 |

▶ 9月号・ウィメンズヘルスと栄養素・サプリメント ◀

I. 生殖医学

- | | | |
|----------------|------|-----|
| 1. メラトニン | 田村博史 | 941 |
| 2. ビタミンD | 黒田恵司 | 949 |

II. 更年期障害

- | | | |
|-------------------------------------|---------|-----|
| 3. ビタミンB ₆ | 尾臺珠美・他 | 955 |
| 4. クロロゲン酸類の健康機能—血管, 自律神経を中心に— | 江野口祐佳・他 | 961 |
| 5. カカオポリフェノール | 村上里香・他 | 967 |
| 6. イソフラボン | 廣瀬明日香 | 971 |
| 7. S-エクオール | 内山成人 | 977 |
| 8. 更年期からのヘルスケアとしてのプタプラセンタの役割 | 小池浩司・他 | 983 |
| 9. 女性ヘルスケアにおけるローヤルゼリーの効用 | 松下宏・他 | 991 |

III. アンチエイジング

- | | | |
|---------------------|------|------|
| 10. ビタミンE | 寺内公一 | 997 |
| 11. レスベラトロール | 平池修 | 1003 |
| 12. プロアントシアニン | 和泉亨 | 1011 |

13. カシスポリフェノール	松本 均・他	1015
14. アスタキサンチン	菊地恵観子・他	1021
15. コラーゲンペプチドの健康寿命延伸における役割 —抗動脈硬化作用について—	伊賀瀬 道也	1029
16. DHEA	満岡 孝雄	1033

▶ 10月号・血栓に強くなる—産婦人科診療に活かす最新知識— ◀

I. 総論

1. 凝固因子の働きと抗凝固薬の作用機序	後藤 信哉	1069
2. 血小板の機能と抗血小板薬の作用機序	安部 涼平	1073
3. 凝固線溶系の見方と妊娠による変動	森下 英理子	1079

II. 診断・治療

4. 静脈血栓塞栓症の画像診断	上野 裕貴・他	1086
5. 遺伝性・後天性血栓性素因と産科診療	根本 玲子・他	1091
6. 不育症と血液凝固異常	杉 俊洸・他	1099
7. 静脈血栓塞栓症合併妊娠の周産期管理	川村 裕士・他	1105
8. 胎盤病理と血栓の意義	佐藤 勇一郎	1111
9. がん関連静脈血栓症の診療	関 義信	1117

III. 薬物療法と留意点

10. 直接経口抗凝固薬(DOAC)の使い方と注意点	吉澤 尚志・他	1122
11. 産婦人科領域でのヘパリン治療と副作用対策	安本 篤史	1129
12. ホルモン療法と静脈血栓塞栓症	若槻 明彦	1135
13. 手術や処置に伴う抗凝固薬や抗血小板薬のマネジメント	松浦 元・他	1141
14. 婦人科手術における静脈血栓塞栓症予防に関する最新知識	北見 和久・他	1147
15. 産後出血に対するトラネキサム酸の適切な投与法	竹田 純	1153

▶ 11月号・子宮頸がんの包括的戦略—ワクチン・検診・診断から最新治療まで— ◀

I. 発がんメカニズムと予防・検診

1. 子宮頸がんの発がんメカニズム	終 元 巖	1181
2. 子宮頸がん予防—HPV ワクチンが果たす役割	工藤 梨沙・他	1187
3. 子宮頸がん検診—1) 子宮頸部細胞診が果たす役割	小田 瑞恵	1195
4. 子宮頸がん検診—2) HPV 検査が果たす役割	黒川 哲司・他	1201

II. 診断

5. 子宮頸部上皮内病変の精密検査とフォローアップ	杉山 裕子	1205
6. 子宮頸部腺癌の病理—HPV 関連腺癌と HPV 非依存性腺癌—	岩本 雅美	1213
7. 子宮頸がんの臨床進行期決定における画像診断の役割	栗原 宏明・他	1219

III. 治療

8. 子宮頸部上皮内病変の治療	笹川 寿之	1225
9. 浸潤子宮頸がんの妊孕性温存療法の適応と限界	田中 京子・他	1231
10. 進行子宮頸がんに対する広汎子宮全摘出術の合併症対策	宇津木久仁子・他	1235
11. 子宮頸がんに対する低侵襲手術の今	小林 栄仁	1241
12. 進行子宮頸がんに対する放射線治療の進歩	幡 多 政治	1251
13. 進行・再発子宮頸がんの薬物療法の進歩	宇佐 美知香	1257
14. 妊娠合併子宮頸がんの治療コンセンサス	田畑 務・他	1263
15. 若年子宮頸がん患者の根治的治療後の QOL 改善	吉丸 真澄	1269

▶ 12月号・婦人科外来診療レベルアップ—病状の評価分類と治療指針— ◀

1. 内診・診療録の記載と治療方針	綾部 琢哉	1301
2. 経腔超音波検査による術前癒着診断法と治療指針	市川 雅男・他	1307

3. 異常子宮出血(AUB)に関する PALM-COEIN 分類と指針	石川 博 士	1313
4. 排卵障害分類(HyPO-P)と治療指針	岩佐 武・他	1321
5. 子宮内膜症術後の妊娠予後評価法(EFI score)と治療指針	真壁 友子・他	1325
6. 子宮腺筋症の MRI 分類と治療指針	貴志 洋平	1331
7. 過多月経(HMB)の評価法と治療指針	奈良 亮謙・他	1339
8. PMS と PMDD の評価法と指針	武田 卓	1345
9. HPV 型の評価法と検査スケジュール・指針	松本 光司	1349
10. 子宮内膜増殖症の評価法と治療指針	八杉 利治	1355
11. 骨密度と骨質の評価法と治療指針	善方 裕美・他	1363
12. 更年期障害の評価法と治療指針	寺内 公一	1372
13. 閉経関連尿路生殖器症候群(GSM)の評価法と治療指針	関口 由紀・他	1377
14. 骨盤臓器脱の評価法(経会陰超音波)と手術療法の指針	岡垣 竜吾	1385

—総 説—

秋田県内へのプレコンセプションケア周知に向けた活動	藤嶋 明子・他	799
---------------------------	---------	-----

—原 著—

5port 全腹腔鏡下子宮全摘術(TLH): ダブルパラレル法	吉池 奏人・他	426
---------------------------------	---------	-----

—症 例—

脳梗塞後の過多月経に対し、レボノルゲストレル放出子宮内避妊システムを 使用した2例	川島英理子・他	97
多嚢胞性卵巣症候群との鑑別に苦慮した セルトリ・ライディッヒ細胞腫瘍合併不妊の1例	横山 絵美・他	209
巨大子宮筋腫と反対の回転を呈した子宮捻転の1例	緒方 泰彦・他	315
子宮頸部扁平上皮癌手術および補助放射線療法後25年を経過して、 腔断端に発生した扁平上皮癌は再発か?	大隈 良一・他	553
血清CA125が異常高値を示したエリスロポエチン産生子宮筋腫の1例	牧野田 佳・他	681
子宮体部原発と考えられた悪性リンパ腫の1例	田島 朝宇・他	917
臨床経過より骨盤内放線菌症と考えられた1例	森内 航生・他	1049
帝王切開癒着症候群による続発性不妊に対し、 子宮鏡併用腹腔鏡下癒着部修復術施行後に生児を得た1例	武田茉莉亜・他	1159
子宮腺筋症より発生した未分化子宮肉腫の1例:		
子宮腺筋症の悪性化リスクの考察	長井 友邦・他	1281
前駆症状の認識と Swansea criteria の使用が診断に有用であった 臨床的急性妊娠脂肪肝(AFLP)の2症例	中後 聡・他	1395

—専門医・認定医をとろう! 私の体験記—

女性ヘルスケア専門医(日本女性医学学会)	荒木 春奈	93
超音波専門医(日本超音波医学会)	古谷 菜摘	311
内分泌代謝科(産婦人科)専門医(日本内分泌学会)	平野 茉来	550
漢方専門医(日本東洋医学会)	鈴木 京子	796
インストラクター [J-CIMELS(日本母体救命システム普及協議会)]	島岡 享生	1045
臨床遺伝専門医(日本人類遺伝学会/日本遺伝カウンセリング学会)	関口 太	1277

—弁護士が答えます! 法律にまつわるあれこれ—

診療ガイドラインの推奨と異なる治療方法を選択すると法律的にどうなるの?	福原 正和	424
「医療広告ガイドライン」を知っていますか?	秦 奈峰子	548

親族間で医院を承継する場合、どのような観点に着目して、

どのように話を進めればいいのか？	福原正和	678
カルテ開示をしていい場合・してはいけない場合	水上裕嗣	794
ネット上の問題投稿に対してとり得る手段は？	水上裕嗣	914
薬剤の適応外使用について法的にはどのように考えられているのか？	山田隆史	1042
説明内容を理解してもらおうのが難しそうな患者からの同意取得は どうすればいいのか？	栗野公一郎	1274
差額室料を支払わない患者への請求はどうすればいいのか？	栗野公一郎	1392

＜増刊号＞ 2023年(第90巻)図表・チャートでパッと理解！ここまでわかった産婦人科の病態生理
定価9,900円(本体9,000円＋税10%)